

巻頭言

東日本大震災から六年がたち国の復興政策は今年度で終了します。しかし、「私たちは忘れない」のスローガンで赤十字社の活動は続いています。日本の各地で自然災害が続き、熊本地震で多くの方々が被災されました。当院でも災害時医療支援と共に被災者でありながら被災地の真ん中で医療活動をおこなっている熊本赤十字病院に人的支援を行いました。8月には異常な動きで東北に史上初上陸した台風10号被害があり当院は被災者の受け入れと災害調査に力をつくしました。本篇ではこれらの災害時医療活動が鮮やかにまとめられており、基幹災害拠点病院として常に準備・訓練を怠らない記録が載っております。

平時は病院職員が日々良質な医療の提供を行っております。こうした当院職員の活動事実を記録したのが盛岡赤十字病院紀要です。本紀要は院内誌ですが、査読制を取り医学中央雑誌の文献検索にリストアップされ、掲載論文は専門医申請書類に引用できる評価を得ています。原著論文やC P C、院内の各種学術活動・臨床・看護活動など盛岡赤十字病院職員の活発な活動の記録で、「盛岡赤十字病院」の発信に大きな役割をはたしております。

盛岡赤十字病院紀要 Vol. 26 をお届けします。本紀要は主として紀要編集委員会の献身的な尽力により毎年発刊されております。職員一同を代表して御礼を申し上げます。

院長 松田 壯正